

キーワード	発達障害	子育て	相談支援	活動地域	北海道
事業名	セルフマネジメントプログラム事業				
事業年度	平成 21 年度	助成金額	1,500 千円		
団体名	旭川LD親の会ぷりずむ				
所在地	〒078-8348 北海道旭川市東光 8 条 1 - 1 6 はりまマンション 5 号室 TEL : 0166-33-1683				
団体HP	-				

## 21年度助成事業の概要

- ◆発達障害は、状態が軽度であるほど、本人も親も障害であることを受け入れることが難しく、周囲の理解を得ることも難しい傾向にあります。また、発達障害をもつ子どもの親は、対処方法に苦慮することで孤立しやすく、ストレスを溜めこんでしまうことが課題となっています。
- ◆この課題を克服するため、学習支援サークル、専門家の助言を交えた個別相談、障害特性に合わせた野外活動、関係者向けのシンポジウムや講演会、親自身が子育てを振り返るための「メンタルノート」作成など、限られた助成金とスタッフで、対象の家族が自ら取り組むことのできる多様な支援が行われました。
- ◆同じ悩みを抱える親同士のネットワークによって、家族間でピアの関係が育まれ、子育ての悩みなどの情報の共有が図られています。また、心地よい環境づくりを意識したことで親と子の精神的な安定が図られ、子どもの学習能力を高めるだけではなく、親子関係の再構築につながった事業です。

## その後の継続状況（継続フォローアップ調査より）

- ◆助成期間終了後、学習障害を克服するための学習プログラムが作成・実践されるとともに、専門機関や相談機関の協力のもとで検証がはじまり、ブラッシュアップに向けた作業が進められています。
- ◆屋外活動では、助成当時から継続している少年野球活動のほか、北海道大学の学生や院生の協力によって登山活動も活発に行われています。また、ダンス活動を開始するなど、子ども自身が達成感を得るための療育メニューを増やしています。
- ◆大学や専門学校に進学する障害手帳を持たない対象者が出始めるなか、旭川から離れた進学先の相談・支援機関との連携を模索しながら、学生生活と就職活動のサポートを行うことが当面の課題となっています。

### ここに注目！

- ☞当事者家族と専門機関との間を「仲介」しながら相談支援を繰り返したことで、これまで対応が難しかった兄弟姉妹が負っている心の問題や、意思の疎通が難しい親への支援の問題に、団体スタッフが的確にアセスメントする力が養われつつあり、職員の専門性向上と信用度のアップにつながっています。
- ☞事業を継続することで培われた研究機関、相談機関、専門家、同じ境遇のピアサポーターとの連携によって、児童虐待や貧困の連鎖につながる複雑な問題を抱えた家庭にも、課題解決に向けた適切な支援が可能となりました。